

東日本大震災 全日本民医連支援ニュース

現地の仲間・住民と連帯し「民医連ここにあり」の心意気でともに力を合わせて頑張りましょう！

NO. 10 2011.3.18 12:30 発 全日本民医連対策本部

Mail : taisaku-honbu@min-iren.gr.jp

◇支援者が見た事実を行政やマスコミに訴え、動かそう！◇

民医連の支援活動に、マスコミが注目しています。報告集会、記者会見に数社が殺到しています。

鹿児島民医連は記者会見で、「避難所では腹痛、下痢、脱水、栄養失調を訴える人が相次ぎ、感染症も流行。ガソリンがないため病院にも運べない。物資の不足が深刻」と現地のリアルな実態を訴えました。埼玉民医連は報告集会で、「1ヶ所の避難所に 1000 人近くいるところでは、圧迫感から体調をくずす人、トイレ環境が悪いので飲み物を我慢し、脱水症状を起こす人が後をたたない。自分だけ助かった罪悪感からリストカットした被災者もいた。本当に支援が必要」と切実に訴えました。

新聞記事を添付します。参考に、各地で取り組みを強め、国を動かす力にしましょう！

ビデオ「会長の訴え」活用を!!

藤末会長から職員のみなさんへ、ビデオによる「訴え」ができました。

本日12:00に全日本民医連HPおよび、You Tubeにアップしました。昼休みの集会や職員集会などで、大いに活用してください。

共闘団体で菅首相に緊急要求

18日、民主団体で共同して内閣府に緊急申し入れを行いました。「しっかり伝えます」とことでした。

<申し入れの柱>

1. 必要な物資の確保について

政府の責任において必要物資を緊急に輸送し、ボランティアの活用も含めすべての被災者に行き渡るよう対策を講ずること

2. 避難所及び全国での燃料確保等について

①避難所に必要な人員を配置するとともに、燃料、水・食料、臨時電話などの確保と正確な情報提供を行うこと。

さらに、ガソリン・灯油など燃料の全国的な確保に万全を期すること

②必要物資および医師看護師等の輸送に携わる民間ボランティア車両について燃料対策を講ずること

③正確な広報と情報開示によって国民の不安を除去し、必要以上の買いだめ防止などに努めること

3. 東京電力福島原子力発電所の爆発事故への対応について

①原子力安全委員会に必要な権限を与え、状況の正確な把握と安全対策を強化すること

②放射能対策や避難体制に万全の措置をとること

被災者の生活保護を迅速に！

援護局より、被災地から一時的に避難した方から生活保護の申請があった場合は迅速かつ適切な保護の実施にあたるようにとの通知が出されています。☆添付ファイルをご覧ください。

八戸市 独自に被災者の介護保険料・利用料の減免を決定！

八戸市介護保険課では、3/11の地震の被災者に対し平成23年度分の「介護保険料」および「利用者負担額」を減免することになりました。連絡を受けた八戸医療生協のスタッフからは安堵の声。通知を添付します。各自自治体で運動を強めましょう！

<御礼>通達第ア-415号で発信しました「坂総合病院への放射線技師支援」(常時、1名の要請)について、北海道・東北地協を中心に3月18日～4月13日までは、確保しました。ご協力に感謝いたします。その後の期間の支援を、引き続きよろしく願います。

◇全日本民医連支援ニュースの活用をお願いします◇

☆状況は刻々と変わります。各県連におかれましては、各事業所にリアルタイムに転送をお願いします。